

**製品名: リポカリン-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13327**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	21kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LCN1
別名	LCN1; VEGP; Lipocalin-1; Tear lipocalin; Tlc; Tear prealbumin; TP; Von Ebner gland protein; VEG protein
遺伝子 ID	3933.0
SwissProt ID	P31025
免疫原	抗血清はヒト LCN1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

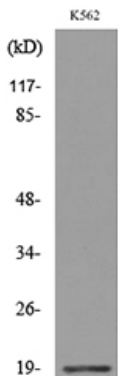
**背景**

この遺伝子は、低分子分泌タンパク質であるリポカリンファミリーのメンバーをコードしています。リポカリンは、様々な疎水性リ

ガンドに結合する細胞外輸送タンパク質です。コードされているタンパク質は涙液中の主要な脂質結合タンパク質であり、感染やストレスなどの様々な刺激に反応して過剰産生されます。コードされているタンパク質は、シェーグレン症候群における自己抗原であるだけでなく、染色体異数性のマーカーである可能性もあります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されており、この遺伝子の2つの偽遺伝子も9番染色体長腕に位置しています。[RefSeq提供、2011年11月];注意: 偽遺伝子の産物である可能性があります。機能: 味覚受容に関与している可能性があります。味覚系における味覚分子の濃縮と輸送に必要である可能性があります。脂質やレチノイドから大環状抗生物質リファンピシン、さらには微生物のシデロフォアに至るまで、様々な化学構造を持つリガンドと結合することができる。極めて広いリガンドポケットを有する。機能: 脂質を含む様々なリガンドと結合する可能性がある。類似性: カリシンスーパーファミリー、リポカリンファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体 (類似性による)。LMBR1Lに結合し、エンドサイトーシスを媒介する可能性がある。組織特異性: 主に涙腺と唾液腺に発現する。前立腺にも発現する。、

## 研究分野

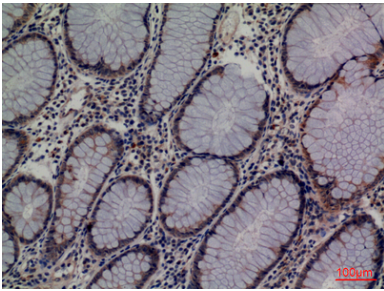
## 画像データ



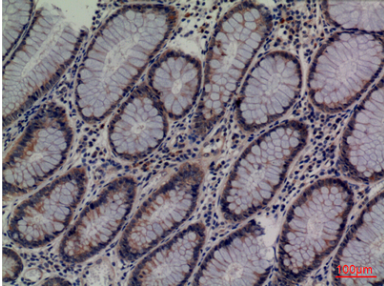
LCN1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



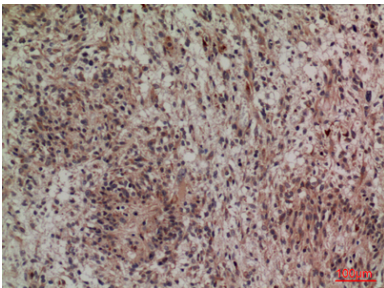
リポカリン-1 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



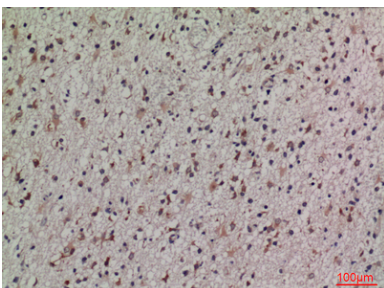
パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



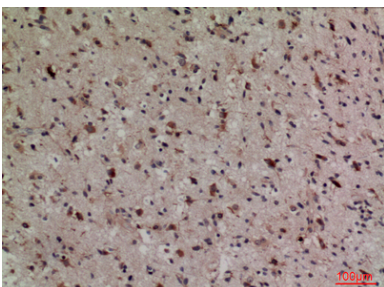
パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された